

## 第5期

# 運用報告書(全体版)

ファンドは特化型運用を行います。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2023年9月29日から2045年8月24日までです。	
運用方針	JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETFを通じて、主として大型株式を中心に米国株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	米国の取引所の上場投資信託証券(ETF)(米ドル建)の受益証券を主要投資対象とします。
	JPモルガン・ グロース株式・ アクティブETF	主として大型株式を中心に米国株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETFの投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎年2月24日および8月24日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

## 米国株アクティブ・グロース 戦略ファンド/ JPモルガン・米国グロース株式・ アクティブETF

【2026年2月24日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「米国株アクティブ・グロース戦略ファンド／JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」は、2026年2月24日に第5期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**SBI** 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ  
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P500トータルリターン指数 〔円換算後〕 (参考指数)		株組入比率	投資信託 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	騰落 中率	騰落 中率	騰落 中率			
(設定日)	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2023年9月29日	10,000	-	-	1,386,838.449	-	-	-	37
1期(2024年2月26日)	12,657	0	26.6	1,660,260.084	19.7	-	97.9	54
2期(2024年8月26日)	13,378	0	5.7	1,767,314.043	6.4	-	98.6	63
3期(2025年2月25日)	15,029	0	12.3	1,976,908.118	11.9	-	99.0	70
4期(2025年8月25日)	16,058	0	6.8	2,110,975.298	6.8	-	98.6	72
5期(2026年2月24日)	16,734	0	4.2	2,358,406.301	11.7	-	97.4	68

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。(以下同じ。)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

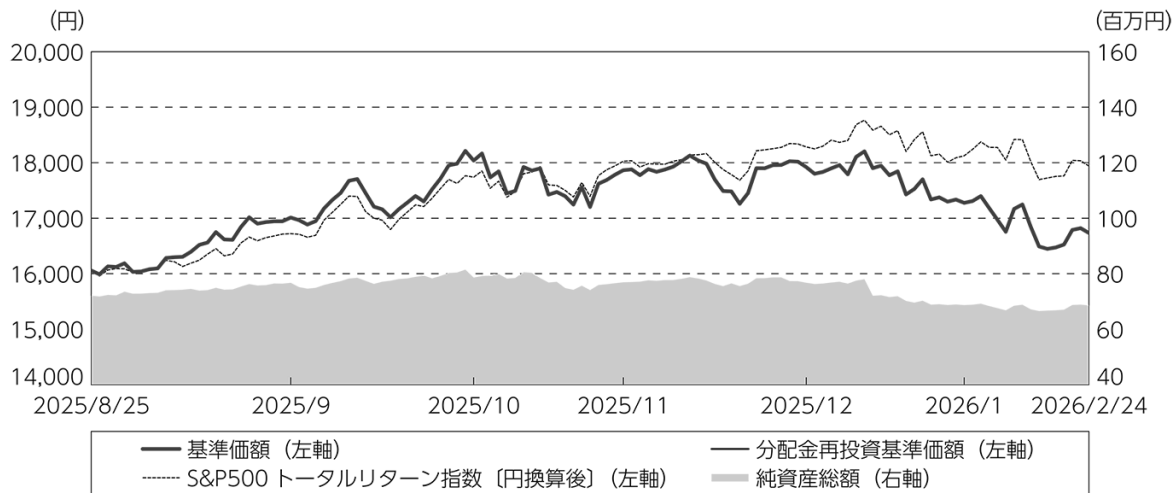
年月日	基準価額		S&P500トータルリターン指数 〔円換算後〕 (参考指数)		株組入比率	投資信託 組入比率	託券率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首)	円	%	ポイント	%	%	%	%
2025年8月25日	16,058	-	2,110,975.298	-	-	-	98.6
8月末	16,188	0.8	2,114,988.329	0.2	-	-	97.5
9月末	17,012	5.9	2,198,201.290	4.1	-	-	96.4
10月末	18,039	12.3	2,332,030.743	10.5	-	-	98.8
11月末	17,865	11.3	2,369,744.549	12.3	-	-	98.7
12月末	17,921	11.6	2,403,690.730	13.9	-	-	99.2
2026年1月末	17,277	7.6	2,382,781.034	12.9	-	-	98.7
(期末)							
2026年2月24日	16,734	4.2	2,358,406.301	11.7	-	-	97.4

(注) 騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2025年8月26日～2026年2月24日)



期 首：16,058円

期 末：16,734円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 4.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S&P500トータルリターン指数〔円換算後〕です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年8月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・為替市場で、米ドルが円に対して上昇(円安)したことがプラス要因となりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・投資対象である「JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」の価格下落がマイナス要因となりました。

## 投資環境

(2025年8月26日～2026年2月24日)

米国株式市場は、上昇後にもみ合う展開となりました。期初から2025年10月下旬にかけては、景気減速懸念の高まりや関税政策によるインフレ加速への懸念から株価が調整する局面が見られたものの、利下げ期待が高まったことや、テクノロジー企業を中心に企業決算が好調に推移するとの見方を背景に、株価は堅調に推移しました。11月から期末にかけては、テクノロジー企業を中心に株価の過熱感が意識される中、高値圏でもみ合う展開となりました。

為替(米ドル/円)は、2025年9月中旬の米連邦公開市場委員会(FOMC)で0.25%の利下げが実施され、その後発表された景気指標の中に堅調なものも見られたことから、利下げ期待が後退したことを受けて、米ドル/円の上昇基調が2026年1月中旬にかけて続きました。その後、政府・中銀(日銀)による為替介入の可能性が意識され、米ドル/円は期末にかけて下落する展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

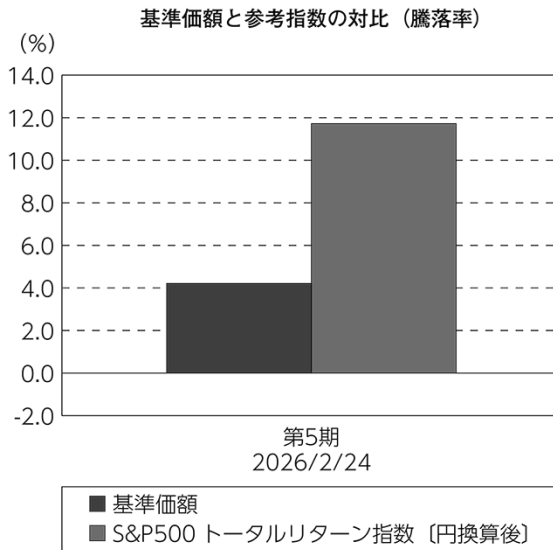
(2025年8月26日～2026年2月24日)

当ファンドの運用につきましては、「JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」への投資を通じて、主として大型株式を中心に米国株式に投資し、投資信託財産の成長を目指した運用を行いました。資金フローに対応しながら組入比率を高位で維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年8月26日～2026年2月24日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 参考指数は、S&P500 トータルリターン指数 [円換算後] です。

## 分配金

(2025年8月26日～2026年2月24日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第 5 期
	2025年8月26日～ 2026年2月24日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,734

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (投資環境)

今後の米国株式市場は底堅い展開を予想します。利下げの再開にはやや時間を要するものの、堅調な企業業績に加えて消費者心理の改善が株価にはプラスに働く見通しです。バリュエーション面からは、市場全体の割高感はやや強い一方で、メガテック株などについては一定程度の調整が進んだと見ています。リスク要因としては、大幅に増加したAI投資の利益回収の遅れや、プライベートクレジット市場の不透明感がさらに高まる可能性などが挙げられます。

### (運用方針)

「JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF」の高位組入れを継続する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年8月26日～2026年2月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(17)	(0.099)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(12)	(0.066)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.009)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.011	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 投 資 信 託 証 券 )	( 2 )	(0.011)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	8	0.047	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 6 )	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 1 )	(0.008)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	40	0.232	
期中の平均基準価額は、17,383円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

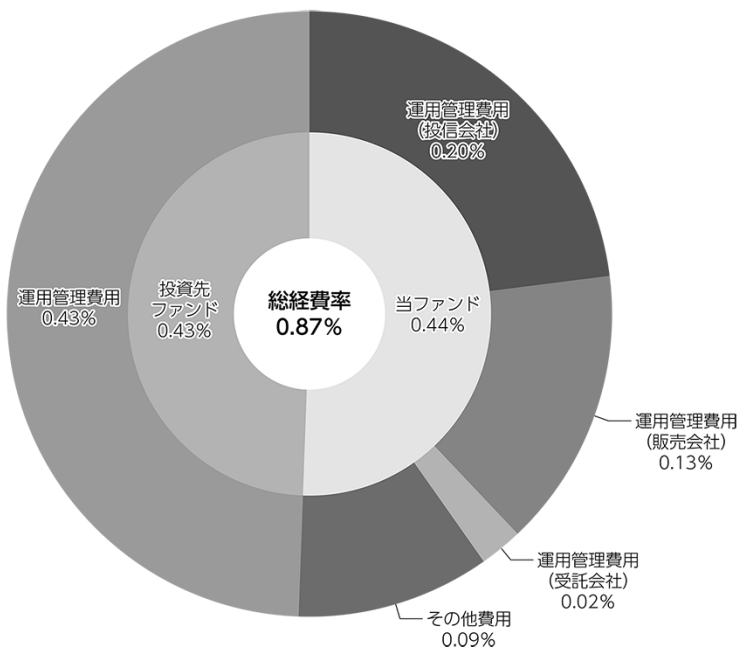
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.87%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	0.87
①当ファンドの費用の比率	0.44
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.43
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	—

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの運用管理費用以外はありません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年8月26日～2026年2月24日)

### 投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	J.P.モルガン・エクスチェンジ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF	281	26	820	77

(注) 金額は受渡代金。  
(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年8月26日～2026年2月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2026年2月24日現在)

### 外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
	J.P.モルガン・エクスチェンジ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF	5,415	4,876	431	66,788	97.4
合 計	口 数 ・ 金 額	5,415	4,876	431	66,788	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<97.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。  
(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別投資信託証券評価額の比率。  
(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2026年2月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 66,788	% 97.2
コール・ローン等、その他	1,906	2.8
投資信託財産総額	68,694	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。  
(注) 当期末における外貨建純資産(66,880千円)の投資信託財産総額(68,694千円)に対する比率は97.4%です。  
(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝154.86円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	68,694,713
コール・ローン等	1,906,320
投資信託受益証券(評価額)	66,788,361
未収利息	32
(B) 負債	147,675
未払解約金	12,317
未払信託報酬	130,463
その他未払費用	4,895
(C) 純資産総額(A-B)	68,547,038
元本	40,961,714
次期繰越損益金	27,585,324
(D) 受益権総口数	40,961,714口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,734円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.6734円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は44,900,188円、期中追加設定元本額は9,046,854円、期中一部解約元本額は12,985,328円です。

○損益の状況 (2025年8月26日～2026年2月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	101,292
受取配当金	104,535
受取利息	△ 3,243
(B) 有価証券売買損益	1,900,097
売買益	3,370,594
売買損	△ 1,470,497
(C) 信託報酬等	△ 165,617
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,835,772
(E) 前期繰越損益金	7,907,426
(F) 追加信託差損益金	17,842,126
(配当等相当額)	( 9,312,893)
(売買損益相当額)	( 8,529,233)
(G) 計(D+E+F)	27,585,324
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	27,585,324
追加信託差損益金	17,842,126
(配当等相当額)	( 9,312,893)
(売買損益相当額)	( 8,529,233)
分配準備積立金	9,743,198

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第5期
(a) 配当等収益(費用控除後)	92,912円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	1,742,860円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	17,842,126円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	7,907,426円
分配対象収益(a+b+c+d)	27,585,324円
分配対象収益(1万口当たり)	6,734円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

<参考情報>

J.P. モルガン・エクステンジ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF

<当ファンドの仕組みは次の通りです>

ファンドの形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託／米国デラウェア州籍法定信託
運用会社	J.P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インク（米国法人）
運用方針	長期的な資本増価を目指します。
主要投資対象	主として米国の大規模企業の株式に投資しますが、運用会社は、中規模企業及び小規模企業の有価証券を含む、時価総額全域にわたる有価証券に投資する裁量権を有します。当ファンドは、その主要戦略の実行にあたり、主として普通株式に投資を行います。
運用方法	運用会社が収益成長の潜在性が高いと考える企業に投資を行います。運用会社は、当ファンドの運用において、今後数年間にわたり平均を上回る収益成長を達成すると運用会社が考える企業を選定するために、調査、評価及び銘柄選定を組み合わせたプロセスを採用します。 ポートフォリオを構築するために、ポートフォリオ・マネジャーは、運用会社が運用している他のアカウントにおいて現在採用している運用会社の「ラージキャップ・グロース戦略」及び「グロース・アドバンテージ戦略」を活用します。当ファンドのポートフォリオ保有はこれらの戦略と重複し得ますが、当ファンドの戦略は独自のものであり、他の2つの戦略への投資とは異なります。
運用報酬	純資産総額×年率0.44%

## ○（参考情報）組入投資信託証券の内容

J.P. モルガン・エクステンヂ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETFの明細は、J.P. モルガン・アセット・マネジメントのデータを基に、SBI 岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

J.P. モルガン・エクステンヂ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF

基準日：2025年6月30日

組入上位10銘柄	純資産比率 (%)
NVIDIA Corp.	9.4
Microsoft Corp.	8.9
Meta Platforms, Inc., Class A	6.0
Amazon.com, Inc.	5.9
Apple, Inc.	4.9
Broadcom, Inc.	4.2
Alphabet, Inc., Class C	3.5
Netflix, Inc.	3.1
Mastercard, Inc., Class A	2.9
Tesla, Inc.	2.8

以下は、J.P. モルガン・エクステンヂ・トレーディッド・ファンド・トラストーJPモルガン・米国グロース株式・アクティブETFの監査済報告書の一部を、SBI 岡三アセットマネジメントが翻訳したものです。SBI 岡三アセットマネジメントは正確性、完全性を保証するものではありません。

損益計算書

自 2024年7月1日 至 2025年6月30日

(単位：米ドル)

<b>投資収益：</b>	
非関連会社からの受取利息	—
関連会社からの受取利息	270
非関連会社からの受取配当金	24,350,544
関連会社からの受取配当金	5,178,889
株券等貸借による収益（純額）	—
<b>投資収益合計</b>	<b>29,529,703</b>
<b>費用：</b>	
運用報酬	17,682,196
非関連会社への利息支払い	—
関連会社への利息支払い	465
<b>費用合計</b>	<b>17,682,661</b>
<b>正味投資収益（損失）</b>	<b>118,847,042</b>
<b>実現／未実現利益（損失）</b>	
以下の取引による実現純利益（損失）：	
非関連会社への投資	△295,457,067
非関連会社への投資の現物償還	424,093,437
先物契約	—
<b>実現純利益（損失）</b>	<b>128,636,370</b>
<b>未実現純評価益／（評価損）の変動：</b>	
非関連会社への投資	512,498,816
先物契約	—
<b>未実現純評価益／評価損の変動</b>	<b>512,498,816</b>
<b>実現／未実現純利益（損失）</b>	<b>641,135,186</b>
<b>営業活動による純資産の変動</b>	<b>652,982,228</b>